

# 56

## みんなのかんきょう

### — Contents —

- 特 集 ..... 2～4  
二酸化炭素の「見える化」で気軽にエコライフ  
私達の活動紹介 ..... 5  
福井市灯明寺中学校  
気比の松原を愛する会（敦賀市）  
協議会事業報告 ..... 6～7  
環境クイズ・県からお知らせ等 ..... 8

写真 コスモス広苑  
—福井市—



環境ふくい推進協議会

# 特集

## 二酸化炭素の「見える化」で「気軽にHFPライフ」☆

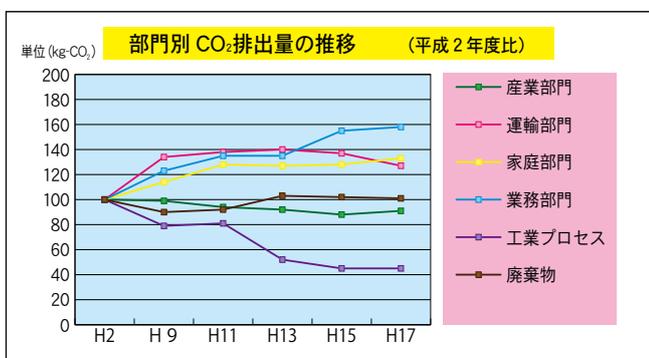
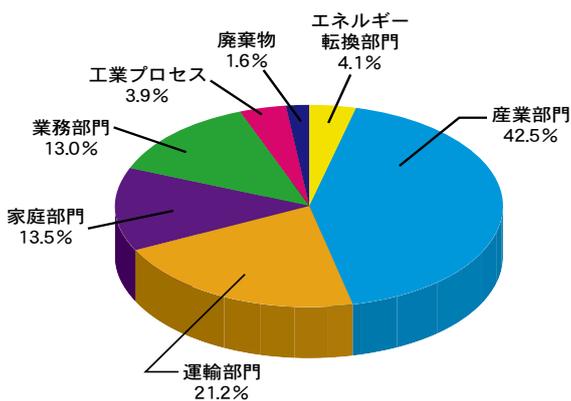
### はじめに

現在、地球温暖化問題は、日に日に深刻化しています。地球温暖化を防止・抑制するためには温室効果ガス（二酸化炭素 $\text{CO}_2$ ）の削減が必要不可欠であり、そのために実に様々な対策がとられているところです。

左の円グラフは、平成17年度の福井県における $\text{CO}_2$ の部門別排出量を表しています。これによると、家庭からの排出量は全体の13.5%で、産業部門、運輸部門に続いて三番目という結果になっています。

一方、家庭や自動車からの $\text{CO}_2$ 排出量は京都議定書の基準年度（平成2年度）と比べ、大幅に増加しています。

平成17年度 福井県の $\text{CO}_2$ 排出量部門別内訳



上の折れ線グラフは、福井県における部門別の $\text{CO}_2$ 排出量の推移を表しています。ここでいう「家庭部門」とは、家庭

における冷暖房機や給湯器の使用にかかる排出量を示しています。福井県でも、家庭からの排出量は年々増える傾向にあります。これは、県内の一般家庭において、エアコンや冷蔵庫などの電化製品の普及率が上昇していることが原因のひとつと考えられます。

また、家庭における乗用車からの排出量は「運輸部門」に示されています。こちらを見ると、平成17年度に、排出量が減少しています。これは、ハイブリッド車など環境負荷の少ない車への買換えが進んだためと考えられています。しかし、本県では、交通手段として、鉄道やバスなどの公共交通機関よりも、エネルギー消費の多い自家用車が主流ということもあり、排出量はまた増加するおそれがあります。これらの排出量を減らすためには、利用者である私たちが、節電や車の利用を減らすなどの省エネ対

策をこまめに行うことが、とても大切になってくるのです。

### 『環境家計簿』をつけてみよう

2006年、環境省の発表では、一世帯あたりの $\text{CO}_2$ 排出量は約5,200kgとされています。しかし、これは、あくまでも日本全国の平均です。例えば、ダイエットをしようとするときに、日本人の平均体重を知っていても、自分の今の体重を知らなければ、ダイエットの目標や方法を定めることができないのと同じように、省エネ対策を始めようとするときにも、まず、自分がどのくらいの $\text{CO}_2$ を出しているかを知り、削減目標をたてるのがポイントです。

そこで今回は、家庭からの $\text{CO}_2$ の排出量を知る方法として、誰でも気軽に始められる『環境家計簿』をご紹介します。

#### 環境家計簿とは...

家庭での電気、ガス、水道、灯油、ガソリン等の使用料や支出額を集計して、 $\text{CO}_2$ の排出量に換算し、家庭からの環境負荷がわかるようにつくられた家計簿のことです。

本文の最後に、福井県版環境家計簿（2ヶ月分）を掲載しましたので、家庭での明細書などと照らし合わせながら数値を入力し、1ヶ月あたりの $\text{CO}_2$ を計算してみてください。毎月入力していくと、数値として目に見えるかたちで自分の行動の成果を実感す

ることができ、意欲的に取り組むことができますので、ぜひ続けてみてください。

また、福井県では、地球温暖化ストップ県民運動

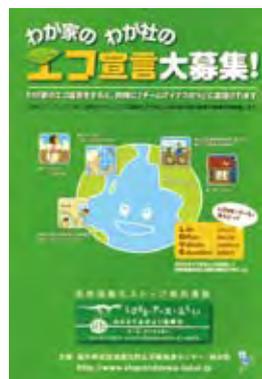
「LOVE・アース・ふくい」の

一環として、家庭や企業での省エネの取り組みを宣言していた「わが家・わが社のエコ宣言」を募集しています。

今回、エコ宣言用紙をリニューアルしました。エコ宣言の取組み例によるCO<sub>2</sub>の削減量と節約金額を表示（見える化）し、例えば、「冷房温度を1℃高く設定すると、年間12kgのCO<sub>2</sub>排出量の削減につながり670円節約できる」など、どのような取組みがどれだけの効果があるかを知る目安として紹介しています。

エコ宣言をはじめて知ったという方は、この機会にぜひ宣言していただき、省エネ活動をはじめてみてください。

※エコ宣言用紙は最寄りの市役所に設置しています。



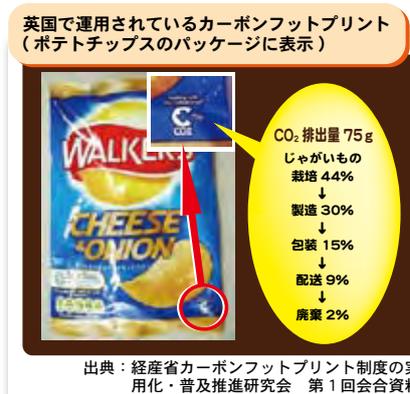
わが家・わが社のエコ宣言 パンフレット

## 二酸化炭素の足跡が見える？

さて、この他にもCO<sub>2</sub>の排出量を把握する手法として、「カーボンフットプリント」という新しい考え方が注目を浴びつつあります。

カーボンフットプリントとは、つまり「二酸化炭素の足跡」。何だかおもしろい名前ですね。これは、私たちが購入する様々な商品が、原料調達から製造・販売・廃棄に至るまでの間、どのくらいの温室効果ガスを排出しているのかを、CO<sub>2</sub>排出量に換算してパッケージなどに表示したものをいいます。数値化し、表示することで、排出量をわかり易く「見える化」しています。

カーボンフットプリントを表示することで、消費者は排出量の少ない商品やサービスを選択しようとする際の判断材料とすることができま



す。また、事業者は、削減努力のアピールができることに加え、自社製品が、製造時のどの段階で排出量が多いのかわ知ることができ、自らの排出量削減にもつながります。

ただし、カーボンフットプリントについては、現在、経済産業省において、制度の実用化と普及促進に向けた研究会を設置し、統一的な判断基準の作成

やマークの設定について議論されているところであり、まだ事業者の自主的な表示に留まっています。

このような中、国内第一号として、サッポロビール（株）から、2009年よりカーボンフットプリント付き缶ビールが販売される予定です。お買い物の際には、チェックしてみてくださいはいかがでしょうか。

## カーボンオフセットという考え方

ここまでは、自らの排出したCO<sub>2</sub>量を算出したり、表示によって知ったりする方法について述べてきました。

次のステップとして、これらの方法を生かし、日常生活から排出されるCO<sub>2</sub>量を減らすよう、省エネライフスタイルを実践することが重要となってきました。

しかし、私たちの生活においては、日常活動に伴い必ず発生してしまうCO<sub>2</sub>があり、いくら省エネ活動などを行っても、排出量の削減には限界があります。

このように、削減に努めてもなお、削減しきれなかった排出量について、他の場所や他の方法での削減・吸収量（クレジット）で埋め合わせる『カーボン・オフセット』という考え方があります。

カーボン・オフセットとは、自分達の省エネ活動では、削減しきれないCO<sub>2</sub>を、植林活動やクリーンエネルギー事業（太陽光発電や風力発電など）などに投資したりすることによって、排出したCO<sub>2</sub>（カーボン）を相殺（オフセット）する仕組みのことです。

カーボン・オフセットは、現在、大企業や政府の

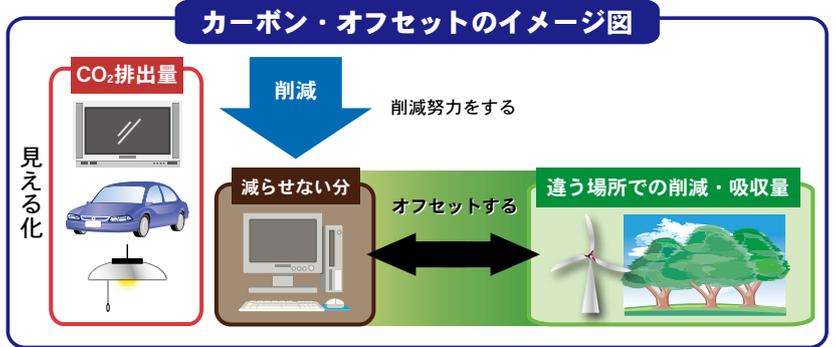


「LOVE アースふくい」推進大会での様子

間で行われているものが主ですが、最近では、個人や中小企業においても、イベント開催により発生するCO<sub>2</sub>排出量を何らかのかたちでオフセットする、というような取組みが広がってきており、個人に身近な新しいライフスタイルとしての考え方となりつつあります。

また、平成20年6月1日に福井県が開催した、「LOVE E・アース・ふくい」推進大会では、大会開催により発生するCO<sub>2</sub>を、来場者からの募金という形で、カーボン・オフセットする試みを行いました。

オフセットの対象に設定したのは、会場使用に伴う電力使用分からの発生量、自動車での来場に伴う発生量の併せて1,308kg-CO<sub>2</sub>です。多くの方に協力いただいで集まった募金は、NPO法人「三国湊魅力づくりプロジェクト」



オフセットの対象に設定したのは、会場使用に伴う電力使用分からの発生量、自動車での来場に伴う発生量の併せて1,308kg-CO<sub>2</sub>です。多くの方に協力いただいで集まった募金は、NPO法人「三国湊魅力づくりプロジェクト」

「見える化」についてより詳しく知りたい方のために、福井県地球温暖化防止活動推進センターのホームページに「CO<sub>2</sub>見える化リンク集」を作成し、省エネ活動に関わる様々な情報を公開しています。こちらもぜひご覧ください。

(福井県安全環境部環境政策課)

福井県地球温暖化防止活動推進センターホームページ↓  
<http://www.stopondanka-fukui.jp>

今や、家庭やオフィスでの省エネは当たり前前の時代となりました。みなさんも、節電・節水などを自然と心がけていたり、車を利用する際はエコドライブに努めたりと、日常生活に密着した取組みをされていることと思います。今後「見える化」が進むことで、さらに実感を伴った取組みができ、より幅広い活動へとつながっていくことができると思います。一人ひとりの小さな削減努力も、様々な工夫でこれらが積み重なっていけば、地球温暖化防止に大きな効果を生み出します。

ここでご紹介した「見える化」の指標やカーボンオフセットの考え方を参考に、新しいライフスタイルを実践してみてくださいはいかがでしょうか。

の松枯れ再生プロジェクトの植林活動を通じてオフセットを行うとともに、県内の松枯れ地域の再生にも、役立てていただくことになっていきます。

**おわりに**

## 福井県版環境家計簿

※排出量は、CO<sub>2</sub>排出係数に使用量をかけ算してください。

| 項目                       | CO <sub>2</sub> 排出係数 | 月   |     |        | 月   |     |        |
|--------------------------|----------------------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|
|                          |                      | 使用量 | 排出量 | 金額 (円) | 使用量 | 排出量 | 金額 (円) |
| 電気 (kWh)                 | 0.457                |     |     |        |     |     |        |
| 都市ガス (m <sup>3</sup> )   | 2.1                  |     |     |        |     |     |        |
| LPガス (m <sup>3</sup> )   | 6.5                  |     |     |        |     |     |        |
| 灯油 (ℓ)                   | 2.5                  |     |     |        |     |     |        |
| ガソリン (ℓ)                 | 2.3                  |     |     |        |     |     |        |
| 軽油 (ℓ)                   | 2.6                  |     |     |        |     |     |        |
| 水 (m <sup>3</sup> )      | 0.36                 |     |     |        |     |     |        |
| アルミ缶                     | 0.17                 |     |     |        |     |     |        |
| スチール缶                    | 0.04                 |     |     |        |     |     |        |
| ペットボトル                   | 0.07                 |     |     |        |     |     |        |
| ガラス瓶                     | 0.11                 |     |     |        |     |     |        |
| 合計 (kg-CO <sub>2</sub> ) |                      |     |     |        |     |     |        |



## 福井市灯明寺中学校

福井市北部の灯明寺地区は九頭竜川に沿った市街地で、道路や歩道の整備が急速に行われ、商業住宅地へと変化が進んでいます。このようにめまぐるしく変化する地域の中で、灯明寺中学校では、学校でできる環境づくりに取り組んでいます。

家庭科では、「地球にやさしい行動をとろう」というテーマで、一人ひとりが家庭でできる簡単なエコ活動に取り組んでももらいました。社会科では、「環境に関する課題解決学習」で、CO<sub>2</sub>削減キャンペーン「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」に参加し、苗木10本を校庭の周りに植樹しました。総合学習の時間には、地域の公園や通学路の清掃、校舎の手入れなどを行っています。



さらに、ライオンズクラブと市園芸センターの協力を得て、職員室の南側20mにゴーヤの苗を植え、グリーンカーテンに挑戦しました。「温暖化の原因となっているCO<sub>2</sub>を減らすには、一人ひとりがこつこつと取り組む必要がある」とし、5月から毎日生徒と先生による水やりを始め、8月までに窓一面にゴーヤのカーテンができあがりました。直射日光を遮断したり、光合成によってはきだされる水が蒸発するときに周囲の熱を奪う「蒸散作用」によって、職員室のクーラーの温度を2℃上げることができました。

また、各教室には4種類のごみ（回収）箱を設置し、トラッシュマスター（整美委員会）が回収・分別を行い、PTA資源回収の時にしています。できるだけゴミの量を減らすために、集めたゴミは圧縮して指定袋に入れていきます。

そのほかにも、学年通信を使って、学校での環境ISOに取り組んでいることや市環境パートナーシップ会議の「ムダ一扫ファミリープラン」を紹介し、家庭においても環境にやさしい暮らし方を考え、取り組んでほしいことを伝えるなどの活動を行っています。

（福井市灯明寺中学校）



## 気比の松原を愛する会



名勝「気比の松原」は日本三大松原（佐賀県唐津市「虹の松原」静岡県清水市「三保の松原」）の一つに数えられ、主にアカマツ約1万本、クロマツ約7千本が植樹されています。この国有林は、市街地を潮から守る防災林としての機能と、その優れた景観による保健休養の機能を併せ持っており、保安林、国定公園、都市公園、レクリエーションの森、風景林等に指定されています。私たちは、先人が残してくれたこの貴重な財産を保護し、後世に伝えていくために昭和42年「気比の松原を愛する会」を結成しました。

活動内容は、随時松原海岸一帯を巡視し、清掃・樹木の点検を行うとともに、森林保護のPRに努めており、樹木に異常が見つければ福井森林管理署に連絡し、処置を講じています。現在では約100名の会員で、年3回（春季・夏季・秋季）の定期清掃と、6月に実施されるクリーンアップふくい大作戦等に参加しており、夏休み期間中は、青少年健全育成と気比の松原を美しくするために巡視活動を実施しています。平成20年度の事業では、現在までに5月開催の第50回福井県緑化大会 in 敦賀の記念植樹に協力し、同月の春季松原清掃活動には53名、7月



は「海の日」松原海岸クリーンアップ大作戦に74名、8月は夏季松原清掃に43名、9月には日本縦断イオンクリーンキャンペーンに48名の参加がありました。

また、9月下旬には長野県安曇村「上高地」にて研修旅行を実施しました。

今後においては、これらの活動を通しさらにひとりでも多くの会員を募り、地域の輪を広げていきたいと思っております。

（気比の松原を愛する会事務局）



# 環境ふくい推進協議会事業報告

## 福井県環境アドバイザー制度との協調

### 福井県環境アドバイザー制度とは??

福井県では、各種団体や地域のグループなどが開催する環境に関する学習会等に、講師として「福井県環境アドバイザー」を派遣しています。

この制度は、県民の環境保全に関する理解を深めるとともに、地域における環境保全活動を推進することを目的として、平成6年に設置されました。現在、環境汚染、エコライフ、フィールド活動など8分野56名のアドバイザーが登録されています。アドバイザーに対する謝金及び旅費については、県が予算の範囲内で負担しています。年20件程度の派遣要請があり、参加された方々からは毎回ご好評をいただいております。

### 環境ふくい推進協議会はどのように関わっているの??

環境ふくい推進協議会では、県と協調して、当協議会の会員企業が、「福井県環境アドバイザー制度」を利用する際に、講師派遣にかかる費用を助成しています。

そこで今回は、去る6月20日に会員企業であるNECセミコンダクターズ関西㈱福井工場（坂井市）で開催された学習会の様子などをご紹介します。

NECセミコンダクターズ関西㈱福井工場は、6月の環境月間にあわせて、社員の環境問題への意識啓発につなげようと、環境講演会を開催しました。『楽しくかっこよく、少し真面目に』をテーマに、福井文化服装学院校長の朝日恵子さんをお招きし、「消費は美德から節約の時代へ」、「節約が作り出した理想像」、「21世紀の光と影」、「クールビズのこれから」の4つの視点から講演していただきました。

参加したのは経営層から一般社員まで、年代もさまざまな85名。約1時間半の講演を、社員の皆さんは真剣に聴き入っていました。ファッションを通じた環境に関するお話で、いつもとは違った観点から環境を考えるよい機会になったようです。



## 福井県環境アドバイザー制度をご活用ください!!

- 講師の派遣を希望される方や制度についての詳細を知りたい方は、まず県環境政策課までご連絡ください。また、福井県環境政策課のホームページでも、アドバイザーの名簿や制度の概要などを掲載しております。
- 環境ふくい推進協議会会員企業におかれましては、当協議会の助成制度をご利用いただけますので、事務局（県環境政策課内）までご相談ください。なお、助成は原則として当該年度において1企業につき1回であり、本制度の目的に合わない研修会等には助成しないことがあります。環境ふくい推進協議会のホームページでも、内容をご案内しております。

### お問合せ先

福井県安全環境部環境政策課  
TEL : 0776-20-0301、FAX : 0776-20-0679  
E-mail : kankyou@pref.fukui.lg.jp  
ホームページ : <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyou/kankyou3.html>

### 会員企業助成制度のお問合せ先

環境ふくい推進協議会事務局（福井県安全環境部環境政策課内）  
ホームページ : <http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs/ad/ad.html>



## 新「福井県環境基本計画」推進に向け、 県民会議の設置を県環境審が答申！！

「環境ふくい推進協議会」は、平成6年に、環境保全活動にかかる個人・団体・企業のネットワークづくりと地域に根ざした活動団体の育成、継続的で着実な環境保全活動の推進を目的として設立され、14年が経過しました。

本協議会では、これまで、環境保全活動普及のため、シンポジウムの開催や情報誌による情報提供などの事業を実施してきました。その結果、環境を守り育てることが大切だという意識は広まりましたが、県民一人ひとりが行動を起こすところまでには、あと一歩というところではないでしょうか。

6月の総会においてご説明いたしましたが、福井県は、今秋を目途に新しい「福井県環境基本計画」を策定することとしており、去る9月10日に福井県環境審議会から答申を得ています。

答申では、県民一人ひとりが率先して省資源・省エネ型のライフスタイルに改めるとともに、多様な生物がにぎわう豊かな自然の保全活用に向けた活動を県民総ぐるみで進め、美しい環境を次の世代に引き継ぐことを目指しています。

また、新計画を推進するため、県民、事業者、各種団体、行政の各主体が共に環境保全活動に取り組む新たな県民運動を展開することとしており、県民運動の推進母体として、各主体で構成する「環境ふくい県民会議（仮称）」を設置することが提案されています。

したがって、今後はこれまで以上に県民が一体となって環境保全活動を推進していく必要があり、そのための組織として、新たに「県民会議」が設立されることとなりますので、同じ環境保全活動の推進を目的としている本協議会のあり方についても検討していかねばなりません。

今後、協議会の役員会および企画委員会を中心として検討していくことになると考えておりますので、会員の皆様にもご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

答申の内容については、  
県環境政策課のホームページから閲覧できます↓↓

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyuu/index.html>



### ふくい環境シンポジウム 「わがまち LOVE・アース」コンテスト

地球温暖化防止ために何ができるの？みんなで考えてみませんか？

開催します

**日時** 平成20年11月20日（木）  
13：30～16：40

**内容** ○環境ふくい推進協議会会長表彰  
○「わがまち LOVE・アース」ノミネート団体の活動報告および表彰式  
○講演「地域でできる温暖化対策（仮題）」  
講師：福井大学大学院工学研究科 川本義海 准教授

**場所** 福井商工会議所ビル  
コンベンションホール  
(福井市木田2-8-1)

入場無料です

読

者

の

窓

みんなのかんきょう第55号に対するたくさんのお葉書、お手紙ありがとうございました。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをお詫びいたします。今後とも、より良い情報紙とするため、みなさまのお便りをお待ちしております。

私

達の活動紹介を読んで、中学生・小学生が環境に目を向けた自分達にできることへの挑戦、活動をすばらしく感じました。小さなときから、自然環境を大切にすることを我が子達にも少しずつ教えることの大切さを感じています。環境行動は一人の百歩より百人の一步から。

(敦賀市 Uさん)

里

山・森林の荒廃が著しいので来年度の全国植樹祭を契機に、産業界の育成だけでなく、しい、ぶな、けやきなど生き物（動物、鳥）を育む森づくりに力を入れるとよいと思います。

(福井市 Tさん)

長

生きできる木の空間、なるほど！と思えました。木は私達がこの世に生まれる前から代々生きていたもので、地球の財産です。大切な木を守り、木と暮らしていきたい！そう思います。家では、ドングリやもみじの木を、種から育てています。

(越前市 Tさん)

間

伐材を利用した木工教室に参加したことがあります。そこで森林の大切さを知ることができた楽しい紙芝居を見せていただきました。森は水を貯えるなど、子どもにもわかりやすくとても勉強になりました。

(勝山市 Tさん)

チャレンジ!

環境クイズ

今回は「CO<sub>2</sub>の見える化」がテーマです。全問正解めざしてチャレンジしてみてくださいね。御応募お待ちしております！

**第1問** 平成17年度の福井県の家庭部門におけるCO<sub>2</sub>排出量は、全体の何パーセントだったのでしょうか？

- ① 約42.5パーセント
- ② 約21.2パーセント
- ③ 約13.5パーセント

**第2問** 電気、ガスなどの使用量をもとに家庭からのCO<sub>2</sub>排出量がわかるようにつくられた家計簿を何というのでしょうか？

- ① CO<sub>2</sub>家計簿
- ② 環境家計簿
- ③ 負荷家計簿

**第3問** 商品のパッケージに、その商品の製造過程でどのくらいのCO<sub>2</sub>を排出しているかを「見える化」表示する方法を何というのでしょうか？

- ① カーボンフットプリント
- ② カーボンフィンガープリント
- ③ カーボンオフセット

環境クイズ応募要領

**方法** 答えを官製ハガキに記入の上、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別および本紙の感想を書いて、当協議会まで郵送してください。

**締切日** 平成20年12月31日(当日消印有効)  
全問正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りいたします。

**【応募先】** 〒910-8580  
福井県庁内 環境ふくい推進協議会

前回解答

- 第1問 ③ 約75パーセント
- 第2問 ② 二酸化炭素
- 第3問 ② 間伐

環境クイズプレゼントの当選者発表は、発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

朝晩の冷え込みがぐんと厳しくなり、空気が澄んできました。街路樹も美しく紅葉し始めて、深まりゆく秋を感じます。毎年この時期に思うことは、春夏秋冬、四季のある国に生まれてよかったなあということ。地球温暖化によって四季という言葉がなくなってしまうまいや、私たち一人ひとりが、できることから地球温暖化防止活動に参加していきましょう。

《自然保護センター秋冬の行事予定》

◆自然講座

12月6日(土) ①6:45~ ②8:00~  
・愛鳥教室「坂井平野の宝!雁を観察しよう」  
※あわら市北潟湖・坂井市にて、定員30名

◆特別観望会

12月23日(火) 19:30~21:30  
・あなたに贈る「冬のダイヤモンド」  
※自然保護センター観察棟にて、申込み不要



《海浜自然センター秋冬の行事予定》

◆海のふれあい教室

12月6日(土) 9:30~12:00  
・海藻おしばでオリジナルカードを作ろう  
※海浜自然センターにて、定員30名

◆三方五湖自然教室

11月15日、29日、12月13日(いずれも土) 9:00~11:00  
・北の国からの渡り鳥~ハクチョウ・カモ~  
※三方五湖にて、定員各30名

◆他施設との連携企画(お申込みは国立若狭湾青少年自然の家まで)

11月22日(土)~24日(月)  
・わくわく体験塾~若狭の歴史と自然にふれよう~  
※食見海岸ほか 小学4年生~中学生対象、定員25名

これらのほかにも、通年プログラムや団体向けプログラムなど、いろいろなメニューをご用意しております。講座の空き状況や、内容など、詳しくは、下記までお問合せください。

【お問合せ先】

- ◆福井県自然保護センター (大野市南六呂師 196-11-2)  
TEL: 0779-67-1655  
HP: <http://www.fncc.jp/>
- ◆福井県海浜自然センター (三方上中郡若狭町世久見 18-2)  
TEL: 0770-46-1101  
HP: <http://www.fcnc.jp/>
- ◆国立若狭湾青少年自然の家 (小浜市田島〔たがらす〕区大浜)  
TEL: 0770-54-3100  
HP: <http://wakasawan.niye.go.jp/>

環境ふくい推進協議会 会員募集!!

環境ふくい推進協議会では、随時会員を募集しています。環境問題に関心のある方、本紙『みんなのかんきょう』を毎月読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方は、ぜひご入会ください。お待ちしております!

《年会費》 個人会員: 500円  
企業会員: 10,000円  
(1口以上何口でも可)  
団体会員: 無料

《申込み・問合せ先》

環境ふくい推進協議会事務局(福井県環境政策課内)  
TEL: 0776-20-0301

《メールマガジンを配信しています》

当協議会では、環境に関するイベント情報を、メールマガジンで提供しています。情報を発信したい方、受信したい方は下記アドレスまでご連絡ください。

⇒E-mail: [kankyuu@pref.fukui.lg.jp](mailto:kankyuu@pref.fukui.lg.jp)

《ホームページもあります》

協議会の事業紹介やイベント案内、『みんなのかんきょう』のバックナンバーも掲載しています。

⇒<http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs/kfs.html>